

幸福駅に明かりともそろう

カンナ・カンナ（帯広、三浦 直美社長）は、14日のバレンタインデーに、幸福駅を明かりで照らす「ハッピーキャンドルライトアップ」イベントを計画している。環境などに配慮した大豆由来の原料を使った「ワックスボウル」100個にキャンドルを入れ、点灯する。

同社は昨年、無農薬のハーブ栽培やハーブティーの製造販売などを行う就労継続支援B型事業所「幸福村」（帯広市幸福町基線）を開設。「恋人の聖地」に認定されている同駅の活性化を目指し、初めて企画した。

14日のイベントは午後6時から1時間程度。会場では限定50人分、ホットココアなどの無料提供も予定している。

バレンタインに企画

5日にキャンドル製作会

当日会場で明かりをとすためなどに使う「ワックスボウル」の製作会を、5日開催する。午後2時から1時間半程度、市幸福農業センターで開く。1人2個のワックスボウルを持ち帰ることができ、別に14日の点灯用として2個の製作を協力してもらおう。先着30人で参加費800円（保険料込み）。

問い合わせは幸福村（0155・64・2055）へ。

（佐藤いづみ）